



New Yorkの町並み

Vol.02

今年のアカデミー賞のギフトバッグにも登場「不安解消アイテム」の主演CBD

文 シェリー めぐみ

text by Megumi Shelly

ア

アメリカでここ数年話題になるヒット商品には「不安解消アイテム」が多くなっています。指先で回すフイジット・スピナー、普通の毛布より重い重力毛布、大人のための塗り絵など、様々な「不安」を軽減、解消する商品やサービスが市場に溢れ「不安コンシューマリズム」とも呼ばれています。

その背景には、世界最高レベルと言われるアメリカのストレス社会があります。中でも不安障害（不安神経症）は心の病の中でアメリカで最も多く診断されていて、実に大人の18%が不安障害を持っている、というデータがあるほどです。

しかし市場に出回っている商品の中には、効能よりも少しでも不安を解消したいという気持ちを狙ったものが少なくないようです。

そんな中で、実際に不安障害への効果が期待されているのが、マリファナ抽出成分CBD（幻想を見る、ハイになるなどの有害な成分を除いたもの）を含むプロダクトです。不安障害の治療薬として頻繁に処方されるバリウムやザナックスは依存性が高いため、それにかわるものとしてCBD製品に熱い視線が集まっています。

CBDの不安障害への効果については、すでに1970年代にブラジルの脳神経学者アントニオ・ザルディが、CBDがマリファナ抽出成分の中でもハイになる成分THCの有害成分を中

和する作用がある事を発見し、社会的な不安を和らげる効果がある事が調査結果として発表されています。しかしこうした調査はいずれも規模が小さく、さらなる研究が待たれている中で、既に商品として市民権を得ている物も少なくありません。

例えば毎年2月のアカデミー賞授賞式で、放送には出てこないけれどちょっとした話題になるのが、ノミネートされた俳優やプロデューサーたちに渡されるギフトバッグ。中には様々なスポーツカーのアイテムがぎっしりで、特にハリウッドの大物たちに渡されるギフトバッグの中身の総額は一千万円とも言われ、豪華な旅行パッケージや高級スパの利用券から、化粧品セットやジュエリー、ペット用品までが入っているとのこと。そのギフトバッグの中に、今年もCBD入りのグッズがお目見え。例えばCBD入りチョコレートやアン

チエイジング化粧品、ロサンゼルス初のマリファナをテーマにしたプライベートクラブ会員権、さらに様々な恐怖症を治すためのプライベート・カウンスリング・セッションなどが話題になっていました。

また有名なコス

メ雑誌『オールア』では、この春CBDの不安解消商品が特集され、オイルからグミ、キャラメル、入浴剤、ポテイローションまでが幅広く紹介されました。

ハリウッドやファッション関係者らのお墨付きで、不安解消プロダクトとしてのCBDはますますメジャーになりそうです。

Profile

ジャーナリスト・ミレニアル世代評論家。1991年からニューヨーク在住。ラジオ・テレビディレクターとして多くの音楽・情報番組を制作した後、長いアメリカ生活で培った人脈や知識、知見を生かし、健康医療、環境、移民、人種、音楽などをテーマに、トレンドや社会現象の背景とその先を知るための一歩踏み込んだ情報をラジオ・ネット・紙媒体などを通じて発信。ニューヨークのミレニアル世代の若者とも交流を深め、ミレニアル世代評論家としても様々な媒体に情報を提供している。早稲田大学政経学部経済学科卒業
オフィシャルブログ <https://megumimedia.com/>

